

はじめに

国際交通安全学会創立40周年記念シンポジウムにご参集いただき、誠にありがとうございます。

はじめに、40周年記念事業全般の枠組みについてお話しさせていただきます。

本学会の創立40周年にあたり、さまざまな企画について2013年4月から準備を進めてきました。本学会には6つの専門部会がありますが、さらに各専門部会を束ねる役割としての企画調整委員会があります。この企画調整委員会の中に2013年4月「創立40周年記念事業実行委員会」が組織され、各専門部会から代表委員1名と各部会の委員長がアドバイザーとして参画することになり、この委員会で記念事業のあり方、イベント等の実施全般について検討してきました。そして、具体的なイベント等の推進については、それぞれの部会が持つ機能を最大限に活用し、会員の総力を結

集して記念事業にあたるという方針に基づき、各専門部会が主体となって進めてきました。

まずは40周年のメインテーマを「IATSSモビリティ社会デザイン2024」、副題を「10年後の理想的な交通社会をデザインしよう」と決定しました。このテーマ設定に関しては、研究調査部会が中心となり検討を進めました。これは、40周年という節目を迎えるにあたり「理想的な交通社会の実現に寄与する」というIATSSの設立趣旨を会員それぞれが自らのこととしてとらえ、自らが考える10年後の理想的な交通社会をデザインし、自らの専門分野において次の10年間にIATSSを通じてどのような貢献ができるかをあらためて考え、共有し、発信する機会としたい、という考えに基づくものです。このメインテーマを念頭に、さまざまな事業を推進してきました。

広報出版部会では、学会誌「IATSS Review」編集委員会、英文論文集

「IATSS Research」編集委員会において、それぞれ40周年記念特集号を発行することとなりました。また、両委員会合同で「記念出版タスクフォース」を組織し、2015年3月にはIATSSならではの学際的な内容の記念出版物を日英版で発行する予定です。褒賞助成部会は、記念式典に関する企画全般を進めてきました。そしてシンポジウム部会は、記念シンポジウム及びその企画を推進してきました。

今回の記念シンポジウムに至るまでに、まずは40周年メインテーマのもと会員相互の意見を自由に語り、共有する場としての合宿を2014年3月16日・17日に開催しました。合宿においては参加者が5つのグループに分かれ、①IATSSの設立趣旨を具体的に定義する、②10年後の理想的な交通社会を描く、③10年後の理想的な交通社会を実現するためのアプローチを考える、というステップで議論し、各グループの

討議内容を全体で共有しました。その後、合宿でのグループ討議を分科会として継続し、各グループ内で本シンポジウムに向けてさらに議論を深めてきました。

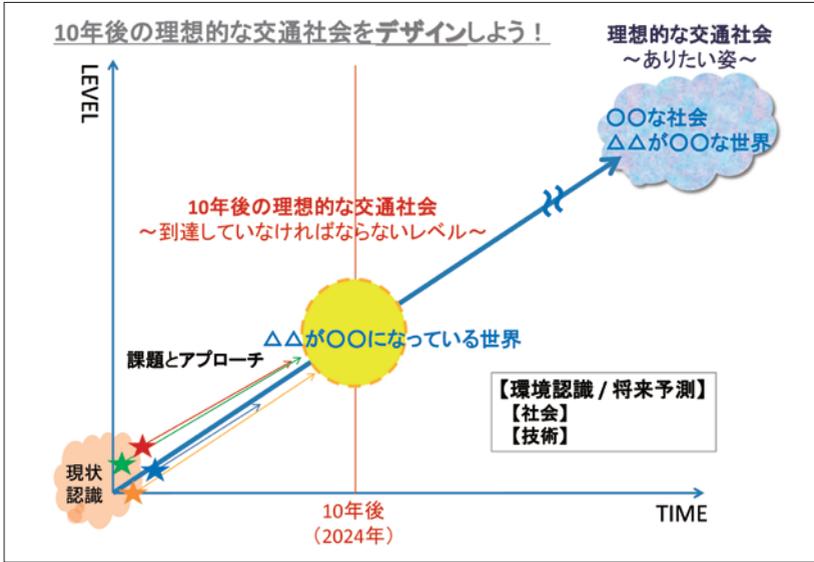
今回の記念シンポジウムは、10年後の理想的な交通社会をIATSS会員自らがどのように描き、そこに向けて何をすべきと考えているのか、皆さまにご理解いただける非常に良い機会と考えており、私個人も大変興味を持っています。ご参集いただいた皆さまには、10年後の理想的な交通社会像とはどんなものだろうか？ ということを、われわれと一緒に考えいただく機会となれば幸いです。また、皆さまには積極的に討論にご参加いただくことにより、実りあるシンポジウムとなりますことを期待して、私のご挨拶とさせていただきます。



谷川 武
創立40周年記念事業
実行委員会 委員長

2014年3月16日・17日の会員合宿以来、10年後、そして将来にわたってどのような交通社会をデザインしていけば良いのかについて、5つのグループに分かれて皆で長時間議論を戦わせ、頭を悩ませた結果、各グループでひとつの形になるものをつくり上げました。そして、それらをお互いに比較検討できたほうが良いだろうと、ひとつのフォーマットにまとめることにしました。

横軸には時間、縦軸には交通社会の水準が取られています。図の右上、はるかかなたに、われわれが期待する理想的な交通社会があります。その理想的な交通社会をまず、各グループで設定しました。次に、その理想的な交通社会に向けて進んでいくためには、10年後の2024年にある程度の段階まで到達していなければならぬでしょうから、10年後の理想的な交通社会について各グループで議論しました。そして現状認識をしっかりと踏まえ、矢印が向かう10年後に向けてわれわれは何をしていくべきなのか、どのようなことが課題なのか、どうやってそこにたどり着くのかということが、各グループで議論されました。



竹内健蔵
シンポジウム部会
企画委員会委員長

その結果、さまざまなものがデザイン案として提案されました。中には、この図をかなり改編したグループもありますが、それはそれで楽しい内容となっています。

これから、はじめに各グループで10〜15分のプレゼンテーションを行います。その後皆さまから質問等をいただきます。これからしばらくの間お時間を拝借して、皆さまと一緒により良い交通社会のデザインに向けて邁進していきたいと考えております。

どうぞよろしくお願いいたします。